

東京工科大学卒業後 同年五月補給局技手ヲ拜命シ 商工課勤務ヲ經テ 同十六年八月臺北州技師ニ任ジ 商工水産課工務係長ヲ命ゼラル

### 牟田 恒義 正七位

臺北帝大農林專門部講師 學生主事  
(現) 臺北市陽町八〇

【履歷】 明治三十五年九月八日佐賀縣佐賀郡上川村ニ生ル 昭和六年三月臺北帝大文政學部卒業 同十二年八月農林專門部講師ヲ囑託サレ 同十三年九月臺北帝大學生主事補トナリ 同十六年七月臺北帝大學生主事ニ任ゼラル今日ニ至ル

### 牟田 邦基 正五位勳五等

臺灣州會議員 皇民奉公會支那奉公委員  
遷居高橋化學工場長  
(現) 嘉義市新富町二ノ六〇

【履歷】 長崎縣牟田千萬人ノ長男明治二十八年十一月十一日同縣西彼杵郡ニ生ル 大正十年東京帝大農藝化學科ヲ卒業 同十一年總督府專賣局技師ニ任ゼラル 同十二年同縣支局ニ轉シ 昭和四年府中央研究所技師ニ任ジ 同五年七月再び酒類勤務ヲ命ゼラル 同八年財政廳稅務課ニ轉勤 同十四年官界ヲ退キ 遷居ニ入社同社高橋化學工場工場長ヲ命ゼラル現在ニ至ル 此ノ間同十六年十一月市會議員ニ選バレ 同年六月皇臺臺灣州支那奉公委員 同嘉義市支會總興ヲ夫々委命セラル 同十七年十一月臺灣州會議員ニ任命サル 趣味ハ園藝 大吟

【妻】 妻ミヅ子(明三五) 長男幸吉(大一一) 二男邦甫(昭二) 長女律子(大一一) 二女スミ子(昭四)

### 牟田口 義隆 從七位 醫學博士

眼科醫  
(現) 臺北市陽町一ノ一

【履歷】 佐賀縣保太郎ノ長男ニシテ明治三十四年三月十七日佐賀市ニ生ル 大正十二年臺北醫學部ヲ卒業ノ後 日赤臺灣支

部病院ニ勤務 次テ臺北醫學助教授 臺北帝大醫學部教授ヲ屢任 昭和十四年現地ニ開業ス 同十三年學位ヲ受テ 趣味ハハイキング  
【妻】 妻ケサエ(昭四一)

### 武藤 三五郎

武藤醫院主  
(現) 臺北市表町一ノ三

【履歷】 愛知縣熱田食吉ノ次男トシテ明治三十五年十二月二十五日熱田ニ生ル 同縣武藤針五郎ノ養子トシテ臺北一中ヲ經テ 大正十五年臺北醫學部ヲ卒業 直チニ臺北醫院ニ奉職シ同院婦人科ニ四箇年 同小兒科ニ五箇年間實地研修 昭和九年八月現任所ニ武藤醫院ヲ開業今日ニ及フ 趣味ハ水泳 野球  
【妻】 妻ミチ子(昭四一) 長女三惠子(昭二) 二女千都也(昭四) 三女久米子(昭五) 四女千惠子(昭一〇)

### 向高 祐興 正七位

府議會官 總務局總務課勤務  
(現) 臺北市朱厝港三三

【履歷】 明治四十一年三月二日宮崎縣那珂郡那珂町ニ生ル 昭和六年九月九州帝大法政學部ヲ卒業 同十六年四月花蓮港廳廳長獎勵勲章及花蓮港商大會總務理事ヲ經テ 同十七年五月任總督府調查官企畫部企畫課ニ勤務 同十七年十一月總務局總務課ニ勤務ヲ命ゼラル

### 迎 正四位勳三等 醫學博士

迎產婦人科醫院院長  
(現) 臺北市陽町五ノ一七

【履歷】 長崎縣土肥郡津島ノ二男トシテ明治十五年十一月八日佐賀市ニ生ル 兄弟ノ養子トナリ 藤立天村中學校、第五高等學校ヲ經テ 同四十二年臺北帝大醫學部ヲ卒業シ

次テ同大學附屬病院ニ於テ產婦人科ヲ專攻スルコト四箇年 同四十五年五月京都帝大醫學部ヲ囑託セラル 大正三十二年九月長崎醫學專門學校教授ニ任ゼラル 同三年七月臺灣總督府醫院院長兼醫學專門學校教授ヲ拜命シ八月十三日渡臺ス 爾來二十四年間臺北醫院產婦人科ニ勤務シ 且ツ醫學專門學校ニ於テ產婦人科ヲ講義セリ 大正八年八月醫學博士ノ學位ヲ授與セラル 同九年五月官命ニヨリ歐米ニ留學シ爾二箇年ニシテ歸朝 昭和六年九月勲任官ヲ以テ待遇セラル 同十三年三月臺北醫院院長トナリ退臺ス 同年六月迎產婦人科醫院ヲ建テ之ヲ經營シテ今日ニ至ル 趣味ハ讀書 古陶器蒐集  
【妻】 妻アサ(昭三三)

### 宗像 傳 從六位勳六等

前臺北州保安課長  
(現) 臺北市

【履歷】 明治二十三年十月十九日福島縣山形郡ニ生ル 同三十九年三月三養高等小學補習科修了後小學教員代用教員ヲ振出しニ 大正四年府巡查ヲ拜命 宜蘭勸業局ヲ命ゼラル 其後警備補ニ昇進シ 同警備課ニ勤務 同九年臺北州警備課ニ轉ジ 同十三年警備課ニ任ゼラル 文山郡勤務 臺北州保安課勤務 臺北州司法主任 刑事係主任ヲ歴任シテ 昭和六年三月文山郡警備課長 次テ宜蘭郡警備課長ニ轉ジ 同九年十一月文山郡警備課長 同十年六月臺北州保安課長ヲ經テ 同十二年十月任地方警備兼中州刑事課長 同十五年五月臺灣州刑事課長 同十七年八月臺北州刑事課長ヲ經テ 同十一年十一月同州保安課長トナリ 翌十八年一月退臺ス

### 宗藤 大陸

高雄州會議員 皇民奉公會中央本部奉公委員  
同 臺灣製糖株式會社副社長  
(現) 屏東市竹園町

【履歷】 宗藤屬太郎ノ六男ニシテ明治二十六年岡山縣久米郡吉岡村ニ生ル 大正十一年七月兵隊學校ヲ修了シニ 同十